

平成28年度 学校教育アンケート結果について

平成28年12月に行いました「学校教育アンケート」へのご協力、ありがとうございました。その結果についてお知らせします。

(児童) 1 「友だちと話したり、遊んだりすることは楽しい。」

(児童) 16 「学校へ行くのが楽しい。」

(保護者) 4 「子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。」

ほとんどの児童が友だちとの関係が良好だと言えます。学年を問わず、肯定的回答が100%のクラスもありました。児童にとって学校生活が魅力的なものになるよう、学校全体で考えていきます。

(児童) 5 「宿題は忘れずにやっている。」

(児童) 19 「家では、自ら進んで学習(宿題、予習・復習、自主学習など)している。」

(保護者) 11 「学校は、家庭学習の習慣がつくように取り組んでいる。」

多くの児童が「宿題をして学校へ行く」という習慣がついており、自主的に取り組んでいます。保護者のご回答では、児童との意識の開きが見受けられます。引き続き、「家庭学習の手引」の配付や学期毎の「家庭学習」のチェック週間を設定して、家庭学習の定着・習慣化を図っていきます。ご協力ありがとうございます。

(児童) 21 「学校では、自分らしく生きることや将来について考える機会がある。」

(保護者) 12 「学校は、学年に応じて、子どもが生き方や将来について考えられるような指導(キャリア教育)を行っている。」

キャリア教育への取り組みについて、授業では「今何を学習しているのか(授業のめあて)」を明確にしています。しかし、保護者に対して学校の取り組みが充分伝わりきれておらず、「わからない」の回答が3割ありました。キャリア教育の授業内容を『学年だより』等でお伝えするよう努めます。

キャリア教育について、小学校では、

- * 家族の一員としての役割(1・2年生の生活科で学ぶ)。
- * あいさつ、人との関わり、コミュニケーションの方法を学ぶ。
- * 係活動、児童会、委員会、当番活動、ボランティア活動等を通して役割を担い、責任を果たすことを学ぶ。
- * 多様な価値観を受け入れ、よりよい社会をつくる市民となる(シティズンシップ)準備。
- * 職業に対する認識を持ち、多様な人生、職業の方から働く姿を学ぶ。

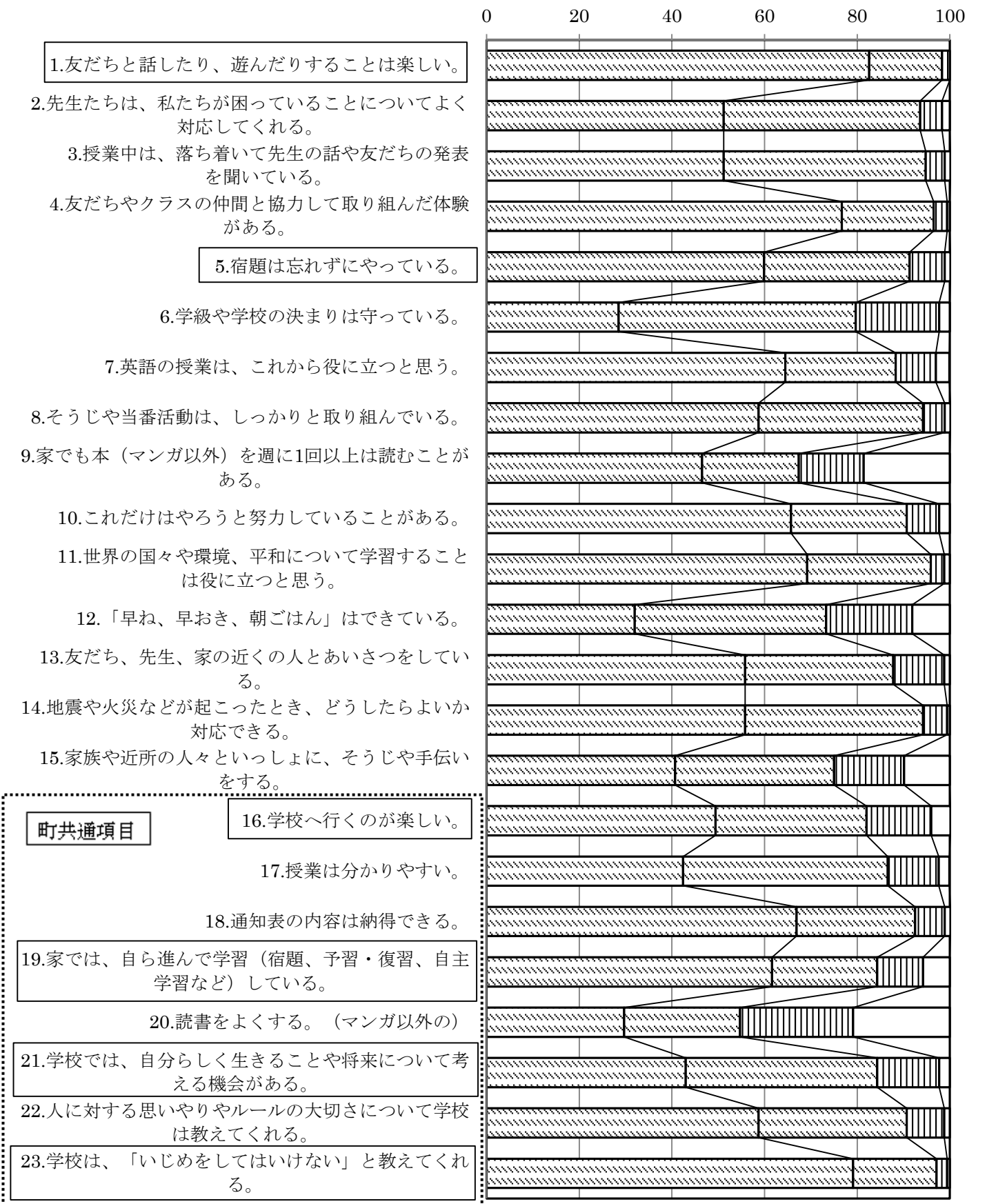
このような、体験や出会い、学びを積み重ね、自分の持ち味、好きなことを増やし、役に立つ喜びや自分への自信を育みます。

(児童) 23 「学校は、『いじめをしてはいけない』と教えてくれる。」

(保護者) 9 「学校は、いじめ防止や早期発見の取り組みを推進している。」

ほとんどの児童が「いじめ」への取り組みについてしっかりと受け止めてくれています。3割の保護者の方は、学校の「いじめ」への取り組みについて「わからない」と回答されていました。『あひるだより』等で取り組みの様子をお知らせしておりますので、ご家庭で親子での会話の話題になるようお願いいたします。

グラフ左より「よくあてはまる・ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」



(児童) 18 「通知表の内容は納得できる。」

(保護者) 7 「通知表は、子どもの学力や達成度について知ることができる。」

ほとんどの児童が通知表の内容（評価）に納得しているようです。保護者に対しては、評価の仕方や基準を明確にし、懇談等でより丁寧な説明を行うよう努めていきます。

(児童) 22 「人に対する思いやりやルールの大切さについて学校は教えてくれる。」

(保護者) 8 「子どもは人権の大切さや社会のルールについて分かっていると思う。」

「ルールの大切さ」や「ルールを守ること」は児童も高い意識を持ってきています。また、保護者の方々も学校の取り組みに対してご理解をいただいています。今後も、全教育活動の中で取り組んでいくよう努めます。また、家庭・地域との連携を図りながら、児童の意識をさらに高められるよう取り組んでいきます。

(児童) 9 「家でも本（マンガ以外）を週に1回以上は読むことがある。」

(児童) 20 「読書をよくする（マンガ以外の）」

(保護者) 10 「学校は子どもに読書の習慣がつくよう指導してくれている。」

児童の本を読む習慣が定着しつつあります。保護者の皆様方も学校の取り組み（本の読み聞かせサークルの活用や読書週間の設定等）にご協力いただいております。今後もボランティアの皆さんにご協力いただきながら、児童が本にふれ合う機会を増やして行きます。また、町の図書専任講師や図書館アドバイザーの支援を受け、図書館を活用し、読書指導を行って行きます。家庭読書の充実に向けて、今後ともご協力をお願いします。

学校教育アンケートで昨年度より肯定的回答の割合が多くなった項目には以下のものがあります。

<児童>

2 「先生たちは、私たちが困っていることについてよく対応してくれる。」 5.5 ポイント↑

9 「家でも（マンガ以外）を週1回以上は読むことがある。」 8.5 ポイント↑

14 「地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか対応できる。」 11.2 ポイント↑

15 「家族や近所の人々といっしょに、そうじや手伝いをする。」 6.0 ポイント↑

<保護者>

9 「学校は、いじめ防止や早期発見の取り組みを推進している。」 7.0 ポイント↑

11 「学校は、家庭学習の習慣がつくような取り組みを行っている。」 11.3 ポイント↑

上記のように、昨年度と比較すると全体的に肯定的回答が増えました。また、町共通項目の評価については、児童・保護者の肯定的回答が10～15ポイント町集計を上回りました。「家庭学習チェックポイント週間」の定期的な実施、『あひる新聞』の発行、読書月間、家庭読書の充実をはじめ、学校が児童にとって安心で安全な居場所であり、基礎学力の定着を始め、思いやりのある集団づくり、自ら考え行動できる子の育成、規律の遵守を目指し、今後とも保護者・地域の皆様とのつながりを深めていきたいと思っております。

平成28年度学校教育アンケート〈保護者〉結果グラフ

島本町立第一小学校

グラフ左より「よくあてはまる・ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「まったくあてはまらない」

